

【回答者：町長】

【提案等の内容】

主題：道路表示案内板の設置について

内容：八重窪、井谷を経由して、なぎの平に通じる林道が今般の明神橋の通行止めによる迂回路となるため、日常の生活道路として利用することとなりました。

については、この道路を利用する住民より、なぎの平側からの入口が非常に分かりづらいという指摘をうけました。

よって、井谷、八重窪方面への表示案内板の設置を早期に設置していただきますよう強く要望をしております。

(60歳代 男性)

【回 答】

ご指摘の件については、早速、明神橋耐震補強工事の請負業者に案内標識を設置するよう、要請しました。現在は、迂回路として「なぎの平」から「井谷」方面への標識が設置完了となっておりますので、ご確認下さい。尚、改善点があれば建設水道課に申し出て下さい。明神橋耐震工事は長期間にわたりますので、ご迷惑をおかけしますがよろしく申し上げます。

(平成25年12月26日公表)

【提案等の内容】

主題：自主消防組織への支援、助成について

内容：町には、現在消防防災組織として、消防団、消防支援隊、自主消防隊（自治区内に消防団員がない場合）が活躍をしておるところです。それぞれの組織に対して、行政からの支援、助成がされておるところであり、自主消防に関しては器具、器材等の支援はあるところですが、自主防災組織の自治区においては、消火防災訓練を実施、住民の意識の高揚と自分達の地域は自分達で守るということで訓練などを実施しておるところです。

こうした訓練、日常活動についての負担はすべて自治区の負担にたよっており大変厳しい実態にあるところですので、よって、町政の現状の厳しさも知るところではありますが、地域住民の安全、安心に生活できるよう支援、助成を要望するところです。（自主消防隊のある自治区にアンケートをとることも一例かと思えます）

また、消防支援隊についてですが、見直すか、廃止すべきだと思います。その理由として、地域によっては隊員が高齢であったり、全くの未経験者（訓練も行われていない）であったり、有事の際はむしろ危険ではないかと思われるところです。

（60歳代 男性）

【回 答】

近年、大地震や集中豪雨などによる大規模な災害の発生により、自主防災組織の活動が重要視されております。このことから町といたしましても集落等における自主防災組織の設立を推進してきたところであり、緊急時の防災活動に支障がないよう資機材の整備や訓練等の支援を行ってきたところでもあります。お質しの、自主防災組織の支援等については、ご提案のアンケートなどにより各組織の活動状況等を把握しながら、補助または支援を検討して参ります。具体的には町民税務課(消防防災担当)と協議して下さい。

消防支援隊につきましては、平成21年4月に発足し4年が経過しましたが、災害時における初期活動体制の強化のため本年4月に組織の見直しを図り、定員を250名以内、隊員の資格要件も18歳以上75歳未満としたところでもあります。さらに各分隊の活動内容を明確にし、消防団と合同訓練なども積極的に行うなど、非常時の対応、隊員の育成についても改善を図っているところです。

（平成25年12月26日公表）

【提案等の内容】

主題：不法投棄物早期撤去について

内容：当自治区内に不法投棄されたゴミが撤去されないままの状態が残っております。有害物質も含まれている話を聞きます。このようなゴミが捨てられていることに地元に住むものとしては不安で仕方がありません。また、ゴム類なども捨てたままです。不法投棄した方に対して早急に撤去するようご指導をお願いします。

(60歳代 男性)

【回 答】

ゴミの(家庭用・産廃含)不法投棄はいかなる場所においても、絶対に許されるものではありません。速やかに情報提供いただいたことについて、御礼申し上げます。今回の不法投棄物は住宅の廃材が主であり、町としても安易に見過ごすことはできません。早速、県会津地方振興局と供に現地確認と、投棄者の特定を行ないました。投棄者に対して厳重注意と早速撤去するよう指導しております。今後改善が見られない場合は、県から警察への告発も検討しているとのことであり、町としても速やかに撤去するよう、引き続き指導して参ります。

(平成25年12月26日公表)